

白井第三小学校区まちづくり協議会設立準備会
第1回まちづくり計画検討委員会（8分野）要点録

1 日時：令和3年6月27日（日）午後4時30分～6時30分

2 場所：富士センター 大集会室

3 出席者

○準備会委員

氏名	出欠	備考
大友 桂	○	防犯・交通安全WG
素田 宗幸	×	〃
石田 里美	×	地域交流WG
鈴木 順子	○	〃
井川 芳枝	○	子育て・福祉WG
川越 美加子	×	〃
松田 裕介	○	担い手WG ※リーダー（委員長）
山崎 佳紀	○	〃
網野 一則	○	令和3年度ホビーコートウエイッジ自治会長

○支援チーム・事務局

所属等	氏名	出欠	備考
支援チーム	石田 俊之	○	
〃	安岡 紹子	○	
市民活動支援課	松岡 正純	○	
〃	保科 恭子	○	
〃	袖山 翔輝	○	

4 議題

(1) リーダー（委員長）の決定と自己紹介

- 参加委員で自己紹介を行い、松田委員がリーダー（委員長）となった

(2) 委員会の進め方について

- 資料「まちづくり計画検討委員会（8分野）の進め方」に沿って、石田支援チーム員が説明を行った
- 予算の目安となるような資料については、事務局である程度準備することとした

(3) まちづくり計画事業の確認

- 資料2-1、2-2を確認し、意見交換を行った

【出された考え・意見】

- ◇ 5・6は統合、7は行政の力が必要、8のごみゼロはそもそも自治会主体
- ◇ 3・5はまとめられる、1・2・4は単独、7・8は難しいのでは
- ◇ 3・4を一緒にしてはどうか、子どもと高齢者をつなげたい、地域でまわっていくようなコミュニティが夢
- ◇ 子どもとお年寄りがつながってというのは究極の目標で壮大、市が行うようなことでは
- ◇ 1・2は単独、3～6を合体、7・8は実施せず
- ◇ 3～6は分野を一本化するのではなく、分野としてはそれぞれで部会を一つに扱うということにした方がよい
- ◇ 5・6・8は分野として一本化できるのではないか
- ◇ 規約に部会が明示されるのであれば、検討の中で組み合わせを考えるべき
- ◇ 3分野の2などは、子どもを当てにしている部分もあるのではないか
- ◇ 分野の分け方は市の提案か
⇒準備会で話し合い、出された課題を市が整理し分野分けを行った
- ◇ 5・6・8を合体させて7は削除、3・4は連携
- ◇ 小さな成功事例を積み上げていくとともに、今までにないような取組を行うように進めていくのがよいのではないかという意見が、大小区まち協で出ていた
- ◇ ごみゼロについても、十分浸透しているからまち協事業としなくても良いのではないかという意見もあるが、十分浸透しているからこそまち協活動のPRの場とし、まち協の認知度向上に活用できる取組にもなりえる（例：まち協のぼり旗を作成しごみゼロ時に立てる、まち協Tシャツを作成して着る）

【確認事項】

最終的に、1・2は単独、3・4は連携を意識しつつも単独、5・6は合体、7・8は事業内容の要素を加味しつつも独立分野で扱わないことを確認。

※次回会議まで、再度資料を読み込んで各分野事業の実現性などを考えてくる。

次回会議：7月11日（日） 午後4時から富士センター 2階休養室